

## しんまちだよりネットワーク版

## 「高齢者地域支援連絡会」を開催しました

## ☆新町・栄町の地域課題

5月31日の午後、地域のネットワークづくりや地域にある課題などを話し合う「高齢者地域支援連絡会」を開催しました。この地域の自治会長、シニアクラブ、新町ささえあいの会、民生委員、医療や介護、金融機関など31名の方々に参加していただきました。参加者のアンケートで多かった意見、地域の課題は「自治会活動がほとんどない」「自治会活動はあるが何となくやっている感じ」「自治会に入るメリットが感じられない」など自治会活動に関するものと、高齢者を支えるための地域の助け合い活動に興味・関心がある、と答えられた方が多かったことが特徴として挙げられます。

## ☆自治会活動の課題と地域の助け合い活動

自治会は全国的に多くの課題を抱えています。特に深刻なのが、加入率の低下と担い手不足です。未加入者が増え、高齢者世帯では役割を果たせなくなり退会する例が目立ちます。

地域コミュニティの希薄化が進み、防災や福祉などの観点で地域のつながりは重要性を増していますが、自治会がその受け皿になっていないのが実情です。



阪神淡路大震災などの大災害では住民同士のつながりが強い地域では迅速な安否確認や救助活動などの助け合いが大きな力になりました。日ごろの関係の有無が、災害時に共助が機能するかどうかを左右します。地域で取り組むからこそできる課題解決は地域住民のほか、社会福祉協議会や学校、企業などの力もあります。多様な人や組織が連携すれば、地域の課題解決や魅力づくりの大きな力となるはずです。

## ☆地域の活動に参加してみませんか？

社会を支える現役世代が今の8割になる「8かけ社会」が2040年にやってきます。多くの業種で既に人手不足は始まっており今後さらに深刻化します。そんな社会を乗り越えていくために、地域に住む人々の日常生活の支え手として行政は自治会や地域の自主活動に期待を寄せています。地域コミュニティの中でどんなことができるか考え、行動してみませんか？



地域包括支援センターしんまち

Tel042-340-5060 FAX042-340-5622 ネットワーク担当 野中

2024年7月1日発行